

TM613 取扱説明書

TM613-2507

お買い上げありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
下さいますようお願い申し上げます。
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 使用温度範囲: 0 ~ +40°C ※結露なきこと (外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 充電推奨温度範囲: +10 ~ +40°C
- 使用電源: USB Type-C 入力: DC 5V 1.0A ※USB AC アダプターは別売です。
- 定格消費電力: 5W
- 充電電池: リチウムイオン電池 DC3.7V 2600mAh
- 充電電池寿命: 約200回*1 (充放電回数)
- 充電時間: 約3.2時間*2 (急速充電には対応していません) ※表示OFFの状態
- カウントダウン: 最大99分55秒 (設定最小単位: 5秒)
- カウントアップ: 最大99分59秒
- リピート機能
- 一時停止機能
- 時計機能
- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25°C で使用した場合)
- 時刻表示: 12 時間制表示、または 24 時間制表示
- カレンダー表示: 2000年1月1日 ~ 2099年12月31日 (フルオート)
- アラーム: 電子音 (2 分間オートストップ)
- スヌーズ: スヌーズ間隔約 5 分 (3 回)
- 充電残量インジケーター

*1 充電電池は周囲の環境や使用時間等の条件により、寿命が異なります。

*2 充電時間は平均値であり、保証値ではありません。

※直射日光や強い光が長時間本体に当たると、部材の変形、変色、劣化の原因になります。

ご使用上の注意

- 充電電池には寿命があります。長くご使用いただくには、製品仕様欄に記載の使用温度範囲を超えた環境下での使用や保管をしない様にして下さい。
- 充電電池の特性として、使用していない状態でも、自己放電により充電電池の残量が減っていきます。●パソコンで充電する場合、USB給電の外付けハードディスクや携帯電話への充電などと同時に接続すると、パソコンに障害を与えることがあります。接続したパソコンのデータの消失や故障などの損害に関して、当社は一切責任を負いません。またデータの復元・損失補償などはいたしませんのでご了承ください。●出力電圧がDC 5Vを超えるUSB-ACアダプターやUSB出力機器を使用しないで下さい。不具合や故障の原因となります。●テレビやラジオなどのそばで使用した場合、音声などにノイズが入る場合があります。

故障かな?と思ったときには...

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考に確かめて下さい。

タイマーが動かない

考えられる原因	処置
充電が無い	本体にUSBケーブルを差し込み、電源に接続し充電して下さい。
液晶表示ON/OFFスイッチがOFFになっている	液晶表示ON/OFFスイッチをONにして下さい。

タイマーが遅れる

考えられる原因	処置
充電電池の残量が少ない	本体にUSBケーブルを差し込み、電源に接続し充電して下さい。

表示が薄くなるまたは消えてしまう・アラームが鳴らない/アラームが小さい

考えられる原因	処置
充電電池の残量が少ない	本体にUSBケーブルを差し込み、電源に接続し充電して下さい。

充電時間が長い

考えられる原因	処置
USB給電元の定格出力が低い	定格 (DC 5V 1.0A) に適合した USB AC アダプターをご用意の上充電して下さい。

充電中に本体が熱くなった

考えられる原因	処置
充電電池の特性上、多少熱くなる事が有ります	故障ではありませんが、本体が触れられないほど熱くなった場合は充電を中止して下さい。

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 0 ~ +40°Cの温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

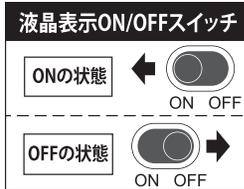
液晶表示ON/OFF切り替え機能について

液晶表示ON/OFFスイッチをOFFの位置にすると、液晶表示が消灯します。

※時計は計時続けます。

※タイマーの作動中にOFFにした場合、次にONにしたときは、OFFにした時のタイマー時間から再度作動し始めます。

※アラームは鳴りません。



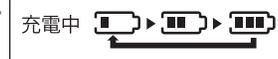
充電残量インジケーターについて

充電残量インジケーターは充電の残量に応じて下記の通り変化します。

残量が71%~100%		残量が41%~70%	
残量が21%~40%		残量が20%未満	

※残量が20%未満になると、自動的に電源が切れます。

充電中はインジケーターが点滅を続けます。充電が完了すると、点滅が終わり、点灯に変わります。



アラーム時刻の設定

- ※設定中の点滅は約60秒です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。(本書各部の名称を参照して下さい。)
- ※タイマーが作動している間は、アラーム時刻の設定はできません。

- ①アラームモードに切り替える: アラームボタンを押して下さい。→アラームマークが点灯しアラーム設定時刻が表示されます。
- ②設定モードに入る: アラームボタンを3秒以上押しと[時]が点滅し、アラーム時刻設定モードに入ります。
- ③[時]を設定する: [時]が点滅している間にツマミを回して[時]を合わせ、ツマミを押します。 ※[AM (午前)]と[PM (午後)]を間違えないように注意して下さい。
- ④[分]を設定する: [分]が点滅している間にツマミを回して[分]を合わせ、ツマミを押します。 →アラーム設定時刻が表示されて、設定が完了します。 ※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。

【例】午前7時10分にアラームを設定する場合



アラームの鳴らし方

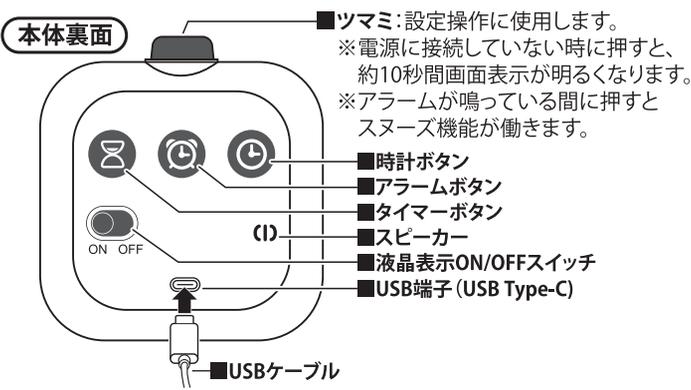
アラーム時刻の表示中に、ツマミを押してアラームONマークを点灯させます。→アラーム設定時刻になるとアラームが鳴ります。再度ツマミを押すと、アラームONマークが消灯しアラームがOFFになります。

アラームの止め方 / スヌーズ機能

アラームを止めるには3通りの方法があります。

1. **アラームを完全に止める**
ツマミ以外のボタンを3秒以上押し。→アラームが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。アラームONマークは点灯したままです。
2. **アラームを一旦止め、5分経過後に、再度アラームを鳴らす (スヌーズ機能)**
アラームが鳴っている間にツマミ/いずれかのボタンを1回押しと、アラームが一旦鳴り止まり、5分後に再び鳴り出します。
※スヌーズ機能中はスヌーズマークが点滅します。
※スヌーズ機能は3回まで繰り返すことができます。
※スヌーズ機能中はタイマーは使用出来ません。スヌーズ中にアラームボタンを約3秒以上押しと、スヌーズ機能が解除されます。
3. **アラームを自動的に止める (オートストップ機能)**
アラームは鳴り出してから2分で止まり、自動的にスヌーズ機能が働きます。スヌーズ機能を3回繰り返した後、アラームは自動的に止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームONマークは点灯したままです。

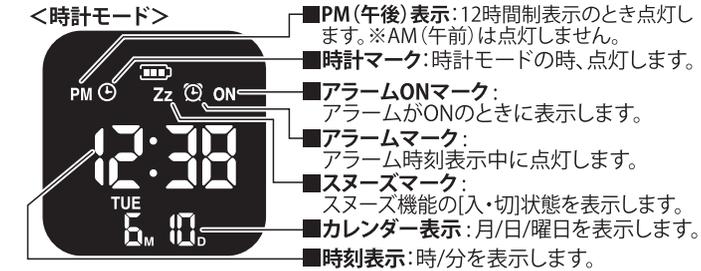
各部の名称



ご使用方法

- 表示ラベルを剥がして下さい。
※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- 本体裏面のUSB端子(USB type-C)に、電源に接続した <表示ラベル> USBケーブルのUSB type-C側を差し込んで充電して下さい。
→表示が点灯し、本体が起動します。
※液晶表示ON/OFFスイッチがONになっていることを確認して下さい。
※初めて使用するときや使用間隔が開いている時は、充電が必要となります。

時刻を設定する



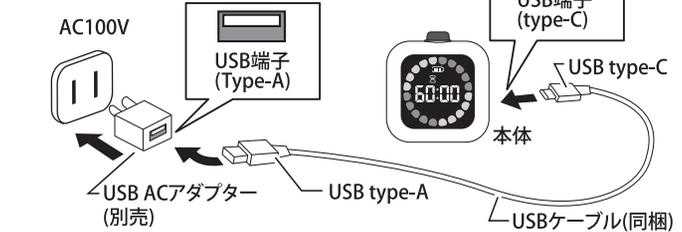
- 注意** ※設定中の点滅は約60秒です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して通常表示に戻ります。
- [例] 2025年6月10日 午後12時38分を設定する場合
- 時刻設定モードに入る
通常時刻表示のとき時計ボタンを3秒以上押しと[年]が点滅し、日付/時刻の設定モードに入ります。
※タイマーモードから設定するときは、時計ボタンを押して、時計モードに切り替えて下さい。
 - [年] (西暦)を設定する
[年]が点滅している間にツマミを回して[年]を合わせ、ツマミを押します。
※ツマミは、右に回すと加算、左に回すと減算します。
 - [月]を設定する
[月]が点滅している間にツマミを回して[月]を合わせ、ツマミを押します。
 - [日]を設定する
[日]が点滅している間にツマミを回して[日]を合わせ、ツマミを押します。
 - [時]を設定する
[時]が点滅している間にツマミを回して[時]を合わせ、ツマミを押します。
※[午前 (AM)]と[午後 (PM)]の間違えないように注意して下さい。
 - [分]を設定する
[分]が点滅している間にツマミを回して[分]を合わせ、ツマミを押します。
※[秒]は[分]を設定することに00秒に設定されます。
以上で設定が完了します。

12/24時間表示切替

通常時刻表示のときに時計ボタンを押すと、12/24時間表示を切り替えることができます。

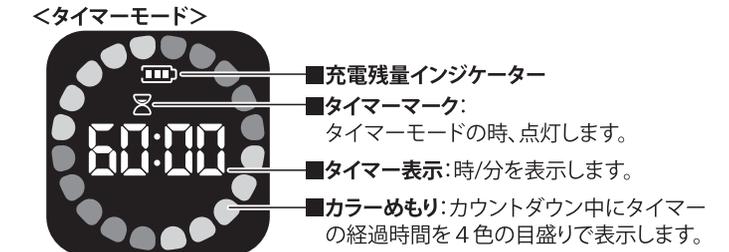
市販のUSB ACアダプター等を使用して本体に充電する場合

- 充電するときは、周囲の温度が+10~+40°Cの環境で行って下さい。
- 警告** ※本体が触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止して下さい。
充電池の特性として、充電時には多少熱を持つことがあります。
※所定の時間を超過しても充電が完了しない場合は、充電を中止して下さい。
発熱や液漏れの原因となります。
- 注意** ※USBハブで充電しないで下さい。
消費電力の高いものと同時に使用すると、タイマーの機能が正常に働かない場合があります。
- 付属のUSBケーブルのUSB type-C側を本体のUSB端子(USB type-C)に差し込んで下さい。
 - USB type-A側を別売りのUSB ACアダプター等に接続し、コンセント(家庭用電源AC100V)に差し込んで下さい。
→表示が点灯し、本体が起動します。



注意 ※本製品に USB AC アダプターは付属しておりません。ご家庭のコンセント等でご使用になる際は、必ず定格 (DC 5V 1.0A) に適合した USB AC アダプターをご用意の上ご使用下さい。

カウントダウンタイマーの使い方



- 注意** ※タイマーモードは5秒経過すると自動的に時計モードに戻ります。
※タイマーが作動している間は、アラーム機能は作動しません。
- ツマミを回す、またはタイマーボタンを押すと、タイマーモードに入ります。
※スヌーズ機能中は、タイマーは使用できません。
 - ツマミを回して、任意の時間を設定して下さい。
※最大99分55秒まで設定する事ができます。
※設定時間が「00:05」以上になると、カラーメモリが表示します。
 - 画面に表示された設定時間を確認し、ツマミを押して下さい。
1秒単位でカウントダウンが始まります。
※カラーメモリは、タイマーをセットすると全目盛り(1周)が点灯します。
設定時間に応じて1目盛りが消灯する時間は異なります。
 - 設定時間になるとアラームが鳴ります。
 - アラームを止めるときは、ツマミまたはいずれかのボタンを押して下さい。

カウントアップタイマーの使い方

画面表示が「00:00」のときにツマミを押すと、1秒単位でカウントアップが始まります。
※カウントアップはアラームが鳴りません。
※最大99分59秒まで計る事ができます。

リピート機能

アラームを止めると前回設定した時間が表示されます。その状態でツマミを押すと、同じ設定時間を繰り返し使用することができます。

一時停止機能

カウントダウンまたはカウントアップの作動中にツマミを1回押しとカウントが一時停止します。続けてカウントをする場合は、もう1回ツマミを押します。

リセット機能

タイマーモードのときにタイマーボタンを押すと設定時間が「00:00」にリセットされます。